

保護者からの事業所評価の集計結果(保育所等訪問支援)

事業所名 児童発達支援センター にじいろキッズらいふ

公表日 令和8年 3月 25日

利用児童数

46名

回収数

18名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	8人	2人	0人	8人	<ul style="list-style-type: none"> 整っている 教材は特に使用することはなかった 	必要に応じ、支援の幅を広げるための新たな教員の提案や活用方法を常に一緒に検討していくこと
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	15人	4人	0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> 整っている いつも配慮された面接室だった 	限られたスペース内で最大限プライバシーが守られるよう、施設側との事前の環境調整を継続していくこと
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	17人	0人	0人	1人	<ul style="list-style-type: none"> 説明されている 事前に説明があった 	保護者の皆様との認識のズレを防ぐため、継続的で丁寧な説明体制の構築に努めます。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	17人	1人	0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> 相談を踏まえている 子供の状態がよくない時に、頻度を増やしますかと提案していただいた。 事前にいつ訪問するのかわかると、子供の体調不良などで幼稚園を休む時に親から連絡できて、支援員の方に迷惑にならないので、訪問日を事前に知れるとありがたい 事前に相談があった 	「事前に訪問予定を知りたい」とのご要望を受け、訪問先施設との日程調整が完了次第、速やかに保護者へ訪問予定日の共有を徹底します。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	13人	1人	2人	2人	<ul style="list-style-type: none"> 適切な体制 人数はよく分からない 支援が必要な子どもがまだたくさんいる 専門家が対応していただけた 	「支援が必要な子どもがまだたくさんいる」とのご指摘の通り、高まる訪問支援のニーズに対し、受け入れ体制を十分に確保することが大きな課題です。質の高い支援を維持しながらより多くの方を受け入れられるよう、専門職員の確保や計画的な人材育成を進めます。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16人	1人	1人	0人	<ul style="list-style-type: none"> 専門性がある アドバイスなどしっかりしていただけた 	現在の専門的な支援の質を維持・向上させつつ、多様化するこどもの特性や発達課題に対応していくことが課題です。職員一人ひとりが研修へ積極的に参加するなど、センター全体として大切な合理的配慮の支援手法を学び、専門性をアップデートし続ける自己研鑽に努めます
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18人	0人	0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> 適切な計画である 十分分析されていた 	適切な計画作成が行えている一方、行動観察だけでなく標準化されたアセスメントツールも活用するなど、より多角的で客観的な視点から課題を分析する手法の充実が課題です。また、作成した計画の意図を保護者や訪問先へさらに分かりやすくお伝えするよう今後も努めます
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	17人	0人	0人	1人	<ul style="list-style-type: none"> 意見をかなりきいてくれました 支援会議があったので盛り込まれていると思う 	訪問先施設の意向を計画に反映する際、複数の担任や関わる職員間での情報共有に温度差が生じないよう配慮することが課題です。担当者だけでなく施設全体でこどもの支援の方向性が統一されるよう、より丁寧なすり合わせを行い、現場との連携を深めていく必要があります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13人	1人	0人	3人	<ul style="list-style-type: none"> 具体的内容だった 	計画に記載する支援内容が、訪問先施設の日常保育の中で無理なく実践できる現実的かつ具体的なステップとなっているかを常に検証することが課題です。抽象的な表現を選び、誰が見ても同じように支援を展開できる、より具体的にわかりやすい計画作成に努めます。

	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<p>適切な支援の提供 10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。</p>	16人	1人	0人	1人	・計画に沿っていた	作成した計画に沿って着実に支援を実行する中で、こどもの日々の変化や訪問先施設状況に合わせて柔軟な軌道修正を行うことが課題です。計画に縛られすぎずではなく、支援の過程で生じた新たな気づきや課題をタイムリーに反映できる機動力の向上に努めます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	<p>適切な支援の提供 11 保育所等訪問支援を実施、施設に配慮した支援が行われていると思いますか。</p>	16人	0人	0人	2人	・配慮されていた	訪問先施設の保育・教育方針や日々のスケジュールを尊重し、現場の負担にならないよう配慮しながら支援を行うことが課題です。今後は、訪問支援員が現場の様子を観察するだけでなく、施設職員と一緒に考え、実践的なアプローチを共に探る協働の姿勢を強化したいと考えます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<p>保護者への説明等 12 事業所を利用する際に、運営規程や利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。</p>	17人	1人	0人	0人	・説明があった	情報提供を充実させ、保護者の皆様が常に安心しサービスを利用できるような透明性の高い運営に努めてまいります。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<p>保護者への説明等 13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。</p>	16人	1人	0人	1人	・示しながら説明があった	一方的な説明とならないよう、保護者の疑問や不安をその場で引き出し、対話を通じて共に計画を確認する姿勢を徹底します。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<p>保護者への説明等 14 事業所では、家族に対し、研修会や情報提供の機会等が行われていますか。</p>	13人	0人	1人	4人	・研修会に参加した	ペアレント・トレーニングなどの家族支援プログラムや研修会の開催情報が、全ての保護者に確実に行き渡るよう周知方法を見直すことが課題です。ご家庭での関わり方のヒントとなる情報発信を強化します。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	<p>保護者への説明等 15 必要なときにこどもの状況、課題について共通理解ができていると思いますか。</p>	16人	2人	0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況ですぐに伝えたいことがある時は、メールを送っている ・親と同じくらい子の特性を理解してくださり、更に専門家視点で先を見据えたアドバイスや支援策を親身に考えてくれました。 ・連絡帳があった 	現在の良好な連携体制を継続しつつ、送迎時や面談の限られた時間の中でも、こどもの些細な変化や成長のサインを見逃さずに保護者と共有できる仕組みづくりが課題です。また、日中のやり取りが難しいご家庭とも共通理解を図れるよう、情報共有の手段を拡充していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<p>保護者への説明等 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。</p>	17人	1人	0人	0人	・面談があった	定期的な面談に加え、保護者が日常の中で感じるちょっとした悩みや不安を、いつでも気軽に相談できるような窓口の周知や雰囲気づくりに努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<p>保護者への説明等 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。</p>	17人	0人	1人	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・よく話を聞いてもらっている ・親族や友人の共感が得られにくい手探りの育児で精神的に消耗していましたが、先生方だけは分かってくれることが、本当に心強かったです。共感的で温かな姿勢がありがたかったです。 ・共感的だった 	職員の対応について温かい言葉をいただいた一方、全ての職員が常に高い共感性と傾聴のスキルを持てるよう、接遇やカウンセリングマインドに関する所内研修を継続的に実施することが課題です。保護者の心に寄り添い、共にこどもの成長を喜べる関係性を維持・向上させます。
	18 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	<p>保護者への説明等 18 こどもや家族からの相談、申し入れの際に迅速かつ適切に対応されていますか。</p>	17人	1人	0人	0人	・整備されていた	寄せられたご意見に対しては迅速かつ適切に対応し、その結果を業務改善に繋げるプロセスをより明確化し、風通しの良い運営に努めます。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	<p>保護者への説明等 19 こどもや保護者との意思、情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。</p>	16人	1人	0人	1人	・配慮されていた	多様なバックグラウンドを持つご家庭に対し、それぞれのニーズに合わせた分かりやすい情報伝達に努めます。

保護者への説明等

非常時等の対応	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	<p>保護者への説明等 20 事業所は、訪問先施設から... 必要な助言と支援が行われていると思いますか。</p>	16人	0人	0人	2人	・支援が行われていた	訪問先施設から寄せられる相談に対し、一方的な専門家としての助言にとどまらず、現場の状況に寄り添った解決策を共に考える姿勢を強化することが課題です。施設職員の強みを引き出し、自信を持ってごどもに関われるような支援のあり方を継続して模索していきます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	<p>保護者への説明等 21 保育所等訪問支援を実施... について話し合いが行われていると思いますか。</p>	17人	0人	0人	2人	・話し合いが行われていた	訪問支援後のカンファレンスにおいて、限られた時間の中で効果的に情報を共有し、次回に向けた具体的なアクションを明確にする進行の工夫をしています。担任だけでなく、必要に応じて園長や主任など施設全体を巻き込んだ話し合いの場を設定し、支援の納得と充実に努めます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	<p>保護者への説明等 22 保育所等訪問支援を実施... に対して適切に共有がなされていると思いますか。</p>	17人	1人	0人	0人	・共有されていた	文字だけの報告にとどまらず、ごどもの頑張っていた様子や具体的なエピソードを交え、保護者が安心できるような温かみのある共有に努めます。
満足度	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	<p>保護者への説明等 23 定期的に通信やホームページ... 等をごどもや保護者に対して発信されていますか。</p>	10人	2人	0人	6人	・ホームページがある	本項目について「わからない」とのご回答が複数あったことを受け、ホームページやSNS等の更新頻度を高め、より多くの保護者の目に届くよう周知方法を改善することが大きな課題です。施設の取り組みを透明化し、安心してご利用いただけるよう発信力を強化します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	<p>保護者への説明等 24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。</p>	17人	1人	0人	0人	・配慮されている	訪問先での書類の取り扱いレールの再徹底など、情報漏洩リスクを未然に防ぐ取り組みを継続します。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていますと思いますか。	<p>非常時への対応 25 事業所では、緊急時の対応... 連携し、実践できるようにしていますと思いますか。</p>	12人	2人	1人	3人	・訓練があった	定期的な情報交換を通じて、現場で迅速かつ安全に行動できるよう危機管理体制を強化していく必要があります。
満足度	26	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	<p>非常時への対応 26 事業所より、ごどもの安全を... 行われた上で支援が行われていると思いますか。</p>	15人	2人	0人	2人	・訓練があった	
	27	ごどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	<p>満足度 27 ごどもは訪問支援を嫌がっていませんか。</p>	15人	0人	2人	1人	・楽しんで参加している様子です。 ・嫌がっていない	ごどもたちの保育にならないよう配慮しています。また、学齢期にはお子様に訪問する旨を話し、様子を見させていただくことを伝える工夫をしており、今後もお子様が理解した上でサービスを使っていく事も大切にします。
	28	事業所の支援に満足していますか。	<p>満足度 28 事業所の支援に満足していますか。</p>	17人	1人	0人	0人	・事業所(にじいろきずらひ)にどれだけ助けていただいたか、今の我が子が保育園生活、学校生活を送れているのはこの制度及び事業所の先生方のおかげだと思います。親と子だけでは発達障害の困難さに社会生活を挫折していたと思います。導いてもらったという感覚です。心から感謝しています。ありがとうございました。 ・相談にのっていただいて助かった	皆様からいただいた高い評価とご信頼に甘んじることなく、日々変化する福祉制度やごどもの多様なニーズに柔軟に対応していくことが最大の課題です。今後も当センターが、ごどもとご家族にとって確かな安心の拠点となるよう、継続的な支援の質の向上と体制づくりに邁進いたします。